

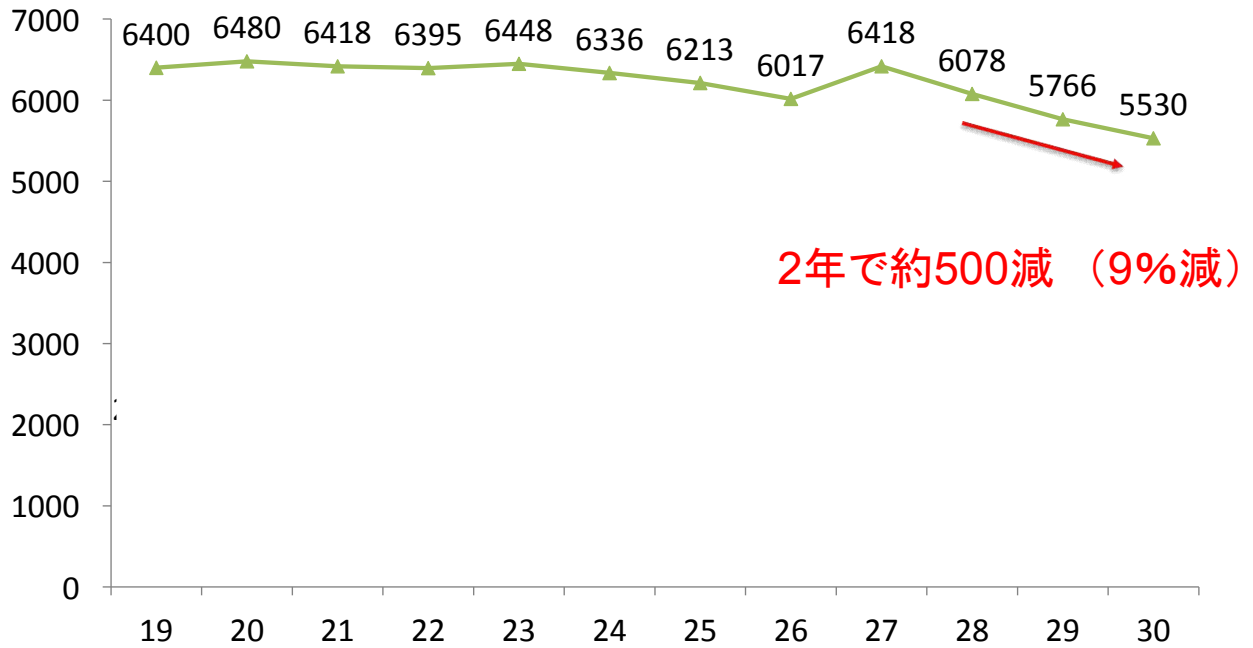
徳島県1年間における産科の現状



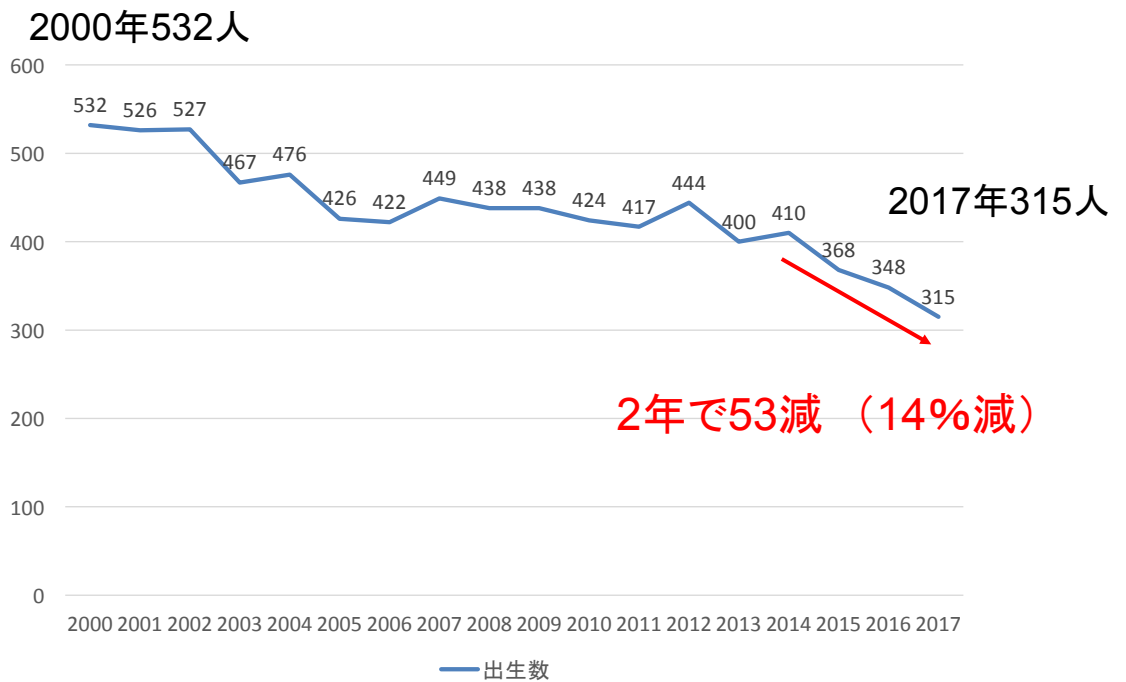
徳島大学病院 産科婦人科
加地 剛

- 徳島県の産科医療体制の推移
 - ・分娩数
 - ・分娩施設
 - ・医師数

徳島県の方娩数



鳴門市の出生数



2006年から2016年までの10年間の出生数変化

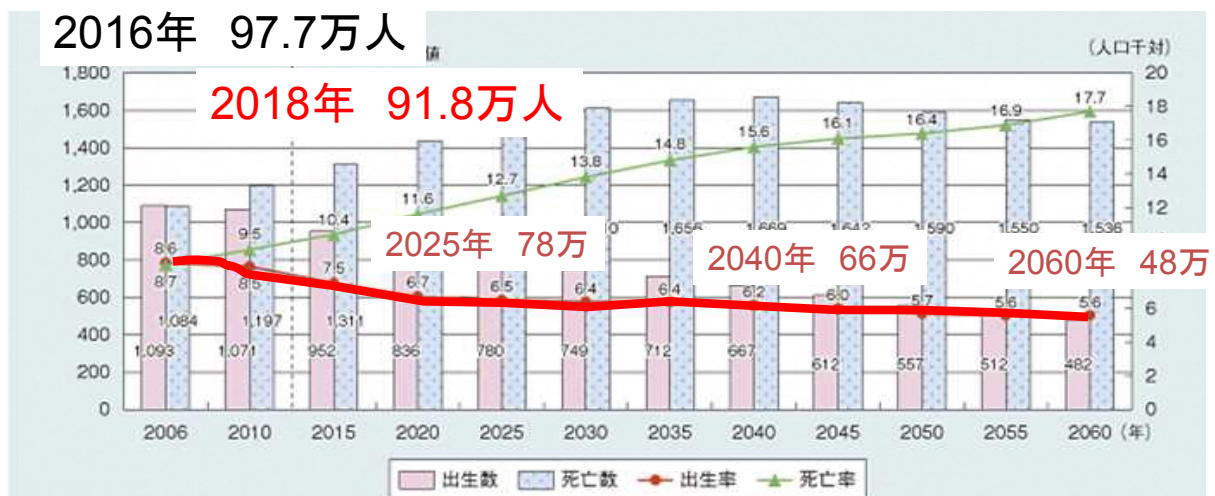
市町村	16年度出生数 06年度比(人)	出生数減少率(%)	16年度人口(06年度比)	人口減少率
徳島市	2097(▲197)	8・58	25万5295(▲6636)	2・53
鳴門市	343(▲81)	19・10	5万8999(▲4839)	7・58
小松島市	279(▲61)	17・94	3万8817(▲3700)	8・70
阿南市	509(▲147)	22・40	7万4459(▲5384)	6・74
吉野川市	251(▲22)	8・05	4万2128(▲4502)	9・65
阿波市	204(▲74)	26・61	3万8572(▲3849)	9・07
美馬市	160(▲59)	26・94	2万9832(▲4526)	13・17
三好市	133(▲16)	10・73	2万7407(▲6436)	19・01
勝浦町	30(▲9)	23・07	5436(▲917)	14・43
上勝町	6(▲2)	25	1594(▲498)	23・80
佐那河内村	5(▲9)	64・28	2433(▲501)	17・07
石井町	171(▲43)	20・09	2万5956(▲972)	3・60
神山町	20(▲8)	28・57	5577(▲1591)	22・19
那賀町	40(▲4)	9・09	8733(▲2320)	20・98
牟岐町	17(▲14)	45・16	4326(▲1144)	20・91
美波町	31(▲8)	20・51	7076(▲1772)	20・02
海陽町	48(▲19)	28・35	9935(▲2155)	17・82
松茂町	135(▲2)	1・45	1万5267(▲419)	△2・82
北島町	232(▲16)	△7・40	2万3032(▲1811)	△8・53
藍住町	322(▲45)	12・26	3万4905(▲2115)	△6・45
板野町	91(▲2)	2・15	1万3583(▲828)	5・74
上板町	84(▲13)	13・40	1万2311(▲991)	7・45
つるぎ町	40(▲23)	36・50	9437(▲2554)	21・29
東みよし町	107(▲10)	8・54	1万4688(▲1531)	9・43
県全体	5355(▲852)	13・72	759798(▲5万3301)	6・55

県内市町村の出生数と人口
(△はプラス、▲はマイナス)

12市町村の出生数、10年で20%超減

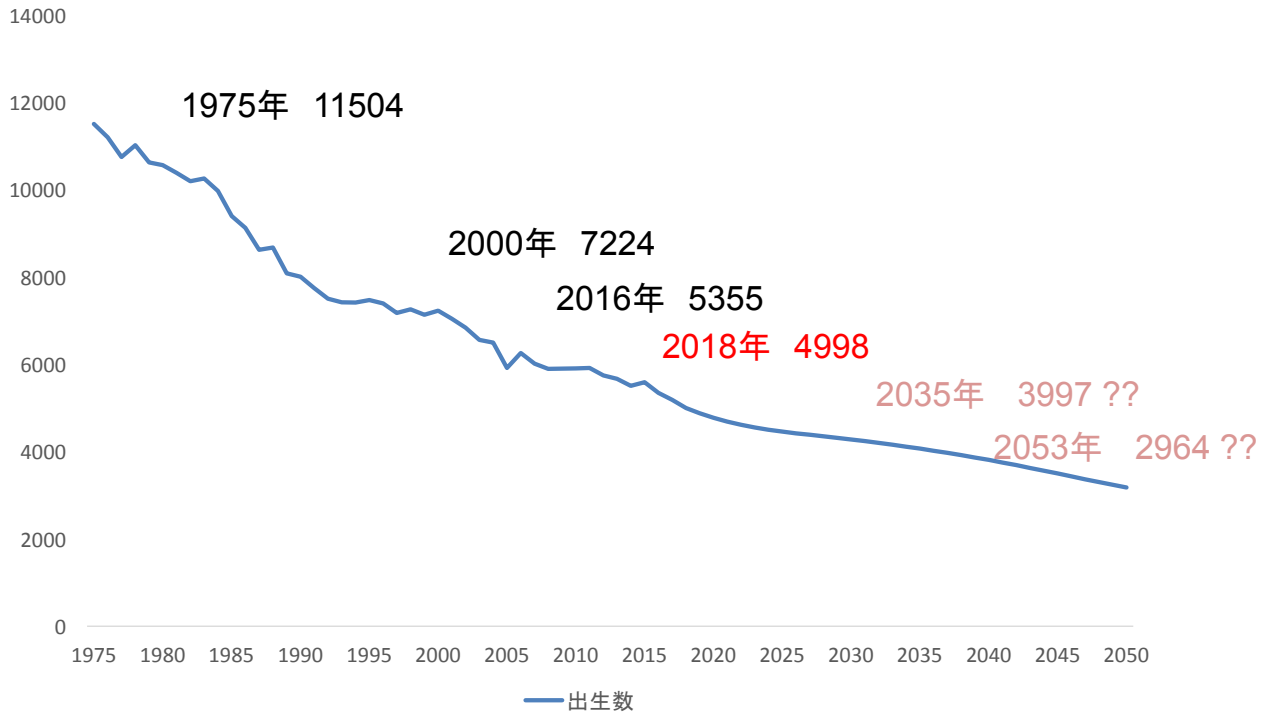
徳島新聞

日本の出生数の予測

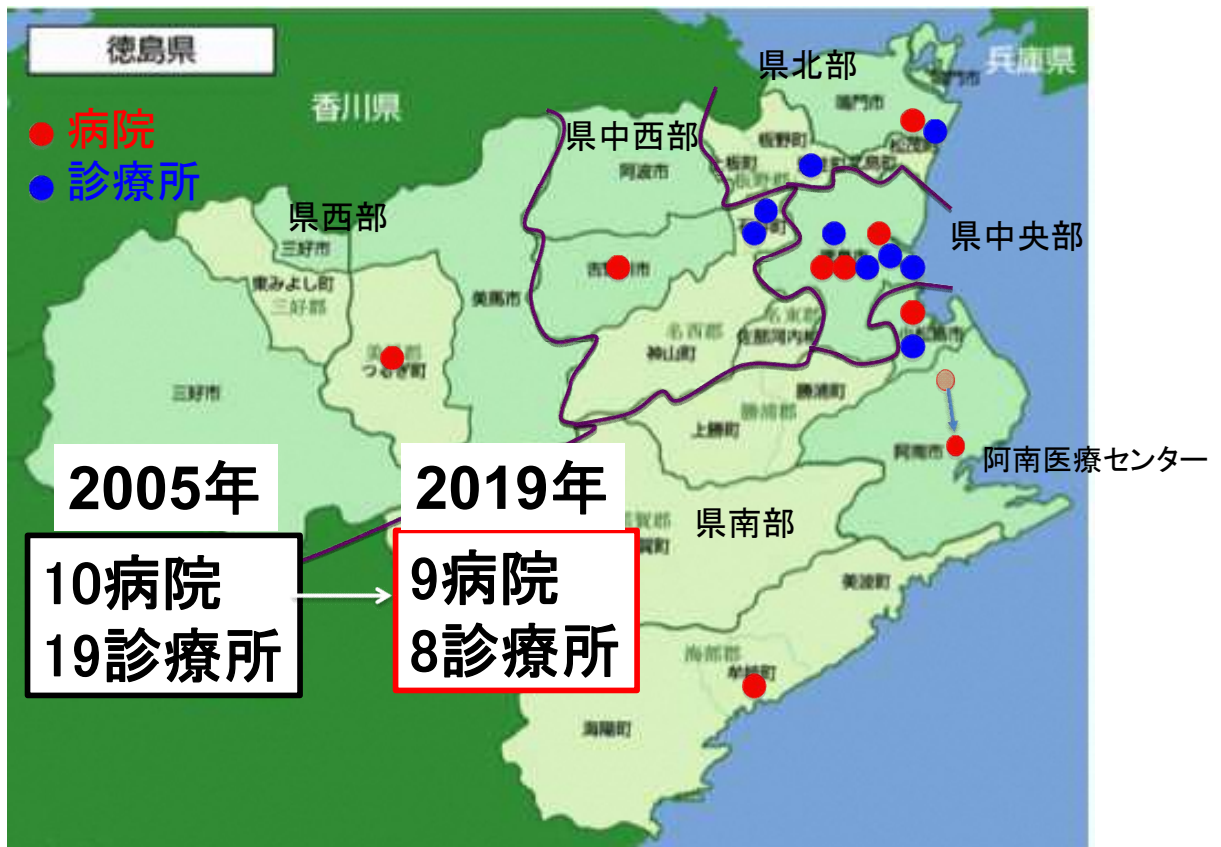


国立社会保障・人口問題研究所

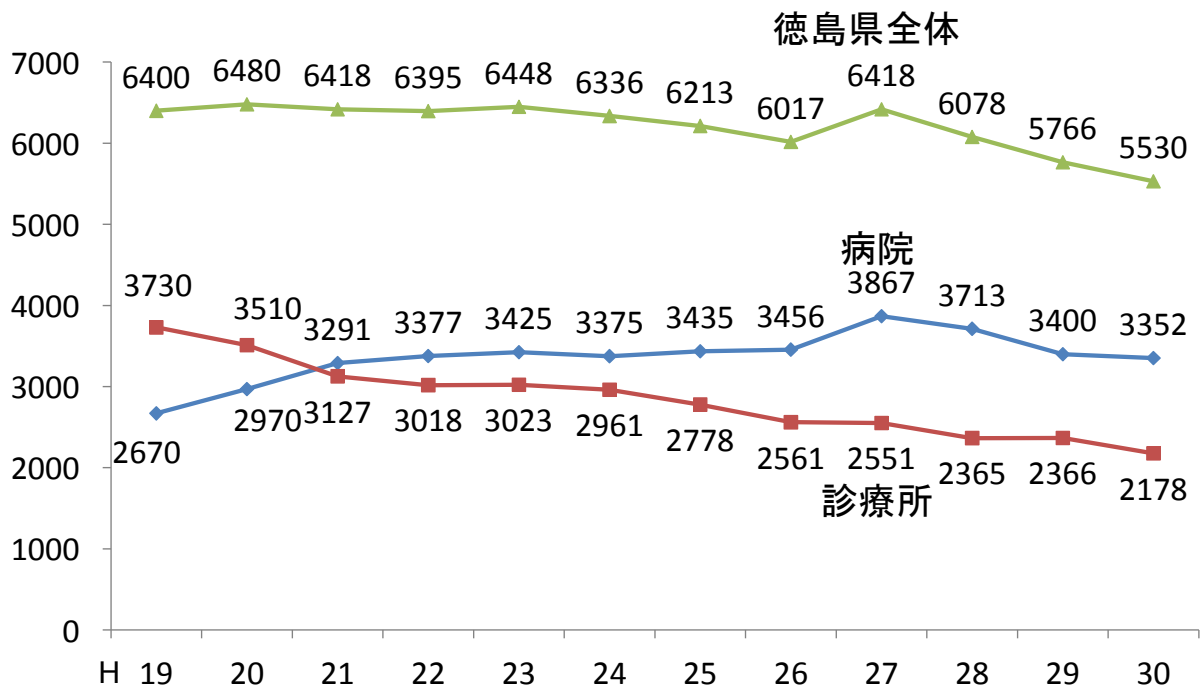
徳島県の出生数



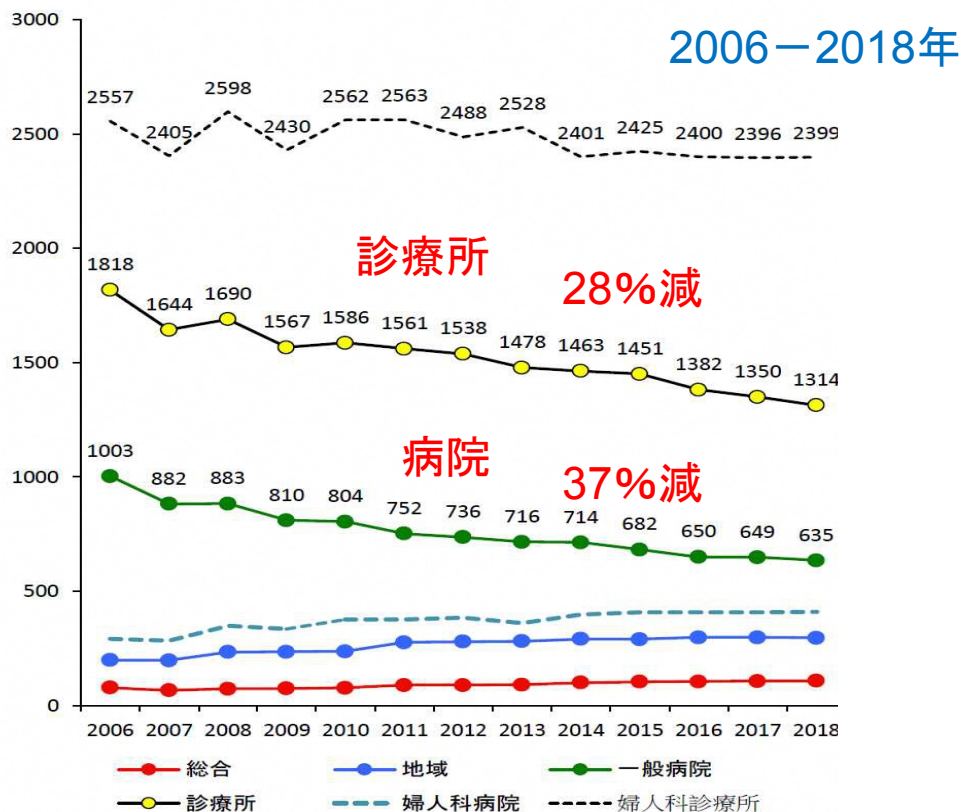
徳島県の分娩施設 2019年



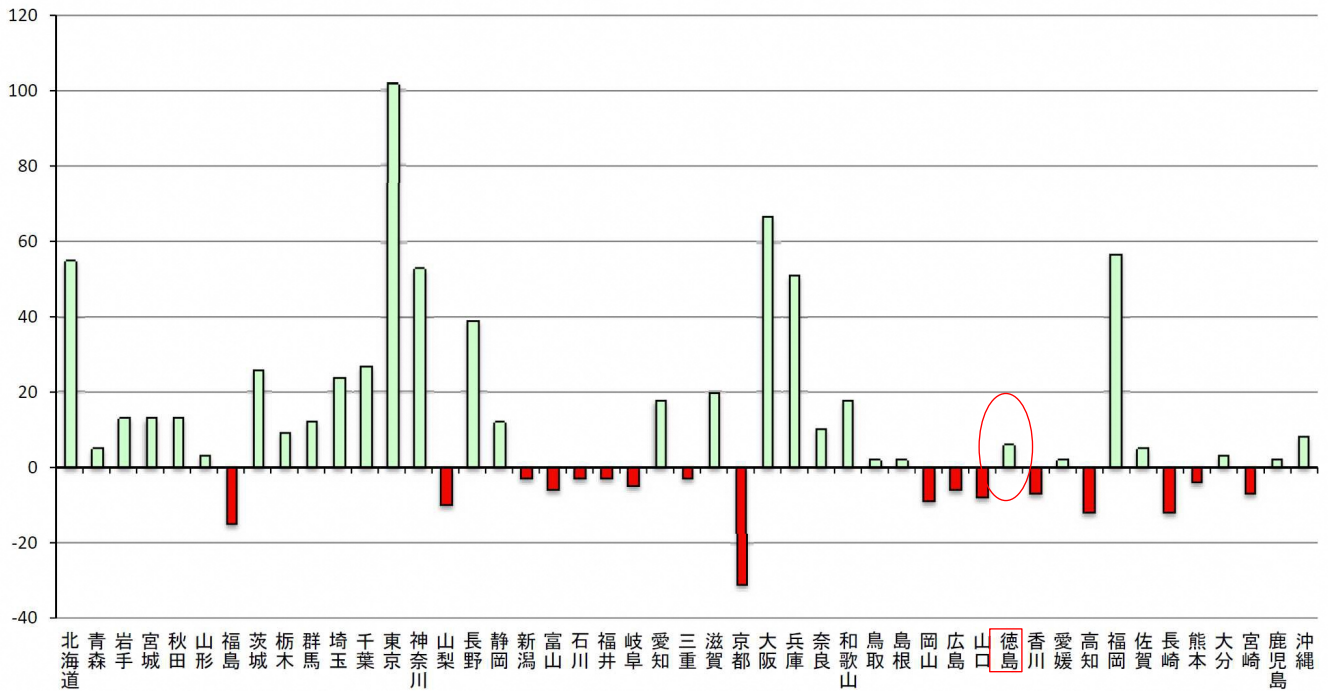
徳島県分娩数



全国の分娩取り扱い施設数の推移

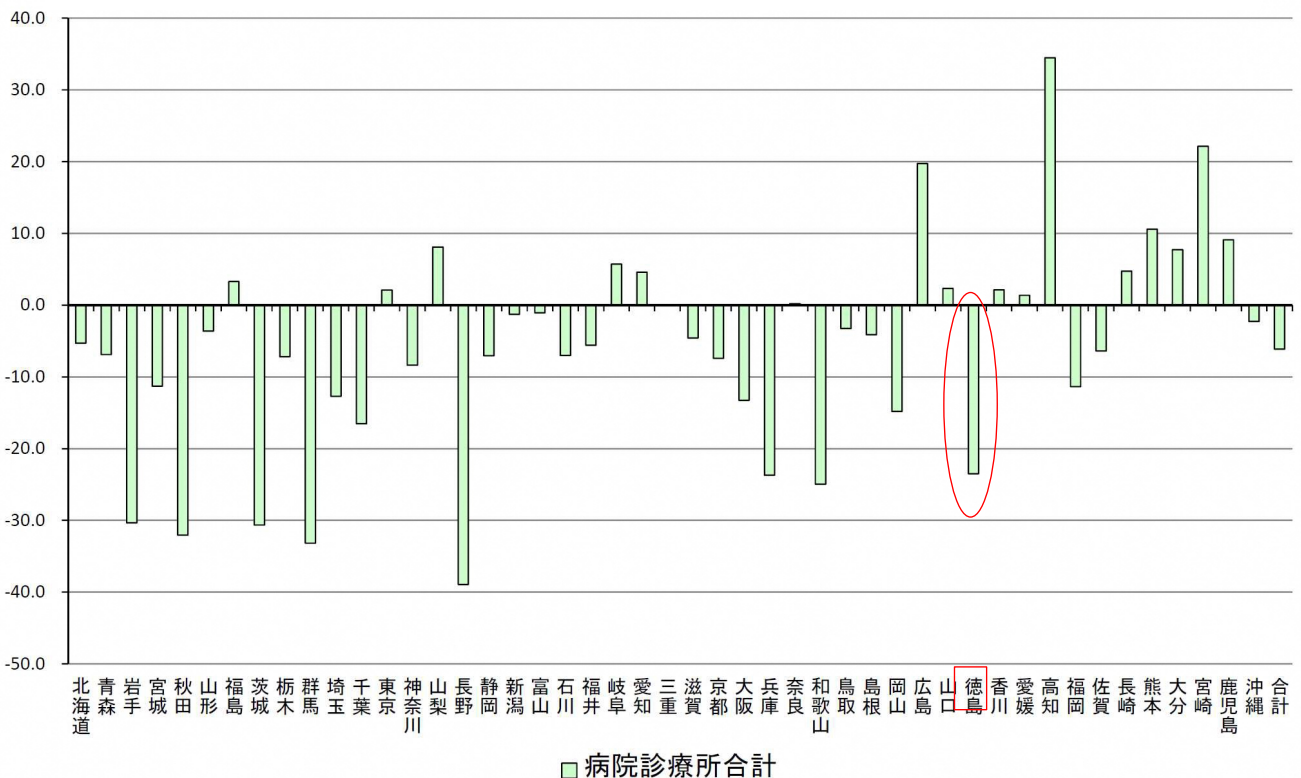


2012年分娩取扱医師数(2006年との比較)

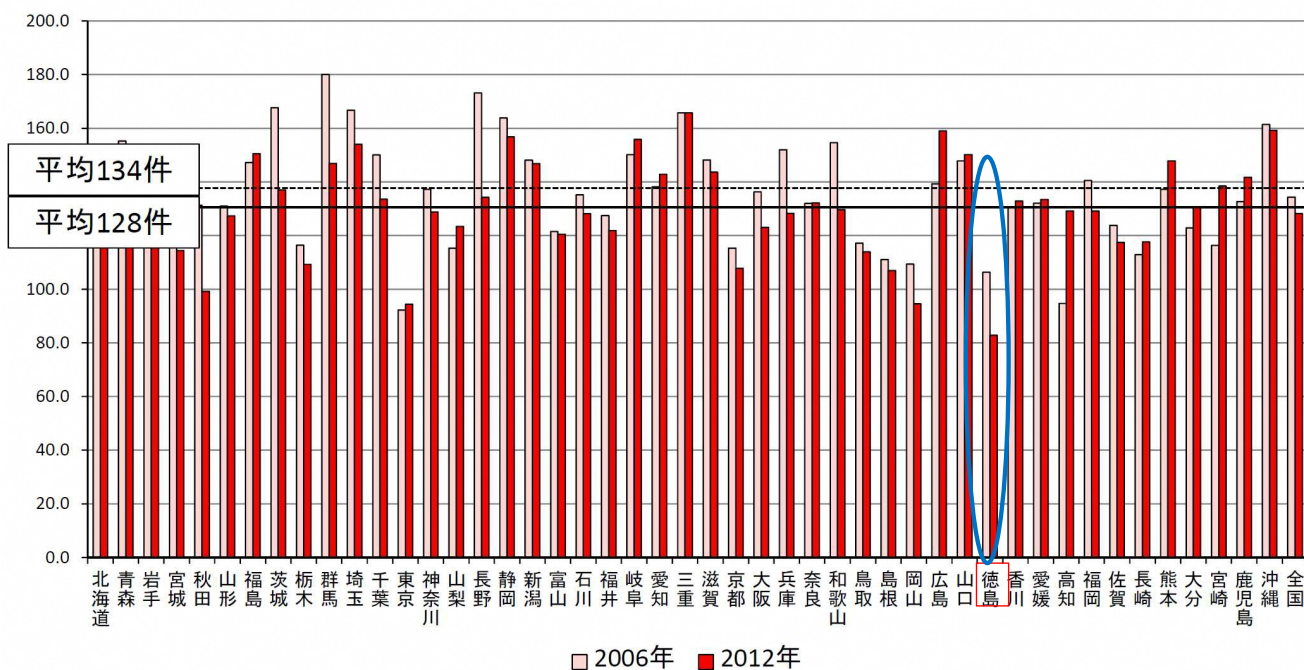


産婦人科医会

2012年医師一人あたりの分娩数の推移(2006年との比較)



医師一人あたりの分娩数の推移



産科における医師偏在指標

- 医師数は、性別ごとに20歳代、30歳代・・・60歳代、70歳以上に区分して、平均労働時間の違いを用いて調整する。

$$\text{産科における医師偏在指標} = \frac{\text{標準化産科・産婦人科医師数}}{\text{分娩件数}^{(*)} \div 1000\text{件}}$$

$$\text{標準化産科・産婦人科医師数} = \sum \text{性年齢階級別医師数} \times \frac{\text{性年齢階級別平均労働時間}}{\text{全医師の平均労働時間}}$$

(※) 医療施設調査の分娩数は9月中の分娩数であることから、人口動態調査の年間出生数を用い調整

産科における医師偏在指標 下位33.3%

都道府県コード	医療圏名	医師偏在指標	順位
	全国	12.0	
13	東京都	18.4	1
05	秋田県	15.8	2
30	和歌山県	14.3	3
27	大阪府	14.1	4
36	徳島県	13.7	5
14	神奈川県	13.7	6
19	山梨県	13.3	7
29	奈良県	13.0	8
28	兵庫県	12.9	9
24	三重県	12.7	10
16	富山県	12.6	11
31	鳥取県	12.3	12
23	愛知県	12.1	13
26	京都府	11.8	14
18	福井県	11.8	15
09	栃木県	11.8	16
04	宮城県	11.7	17
33	岡山県	11.6	18
17	石川県	11.6	19
42	長崎県	11.5	20
32	島根県	11.3	21
37	香川県	11.2	22
12	千葉県	11.1	23

都道府県コード	医療圏名	医師偏在指標	順位
25	滋賀県	11.0	24
47	沖縄県	10.9	25
06	山形県	10.9	26
22	静岡県	10.9	27
01	北海道	10.8	28
35	山口県	10.8	29
03	岩手県	10.7	30
40	福岡県	10.6	31
44	大分県	10.3	32
34	広島県	10.2	33
21	岐阜県	10.0	34
46	鹿児島県	10.0	35
38	愛媛県	10.0	36
10	群馬県	9.9	37
20	長野県	9.6	38
08	茨城県	9.6	39
45	宮崎県	9.5	40
39	高知県	9.3	41
11	埼玉県	9.3	42
02	青森県	8.9	43
41	佐賀県	8.8	44
07	福島県	8.8	45
43	熊本県	8.6	46
15	新潟県	8.2	47

四国の周産期医療圏別医師偏在指標

36101	徳島県	東部	15.4	38
36102	徳島県	南部	8.5	191
36103	徳島県	西部	11.5	103
37101	香川県	小豆	8.7	181
37102	香川県	東部	13.4	59
37103	香川県	西部	8.6	186
38101	愛媛県	宇摩、新居浜・西条	9.3	160
38102	愛媛県	今治	4.8	265
38103	愛媛県	松山、八幡浜・大洲	11.1	116
38104	愛媛県	宇和島	11.7	96
39101	高知県	安芸	24.0	8
39102	高知県	中央	9.4	152
39103	高知県	高幡	-	-
39104	高知県	幡多	7.2	233

当直回数(月)

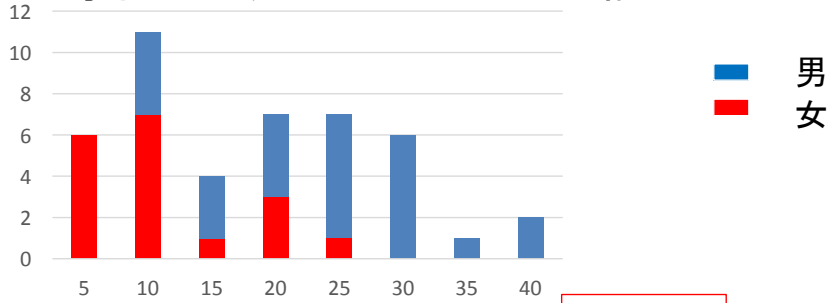
都道府県別就労状況

日本産婦人科医会勤務医部会アンケート2018より引用

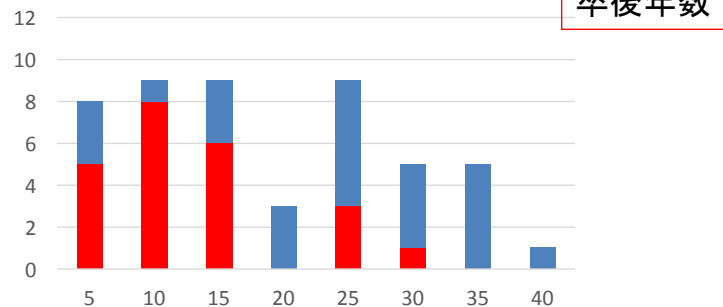
	n	勤務時間	宿直回数		n	勤務時間	宿直回数
北海道	35	47.3	4.8	滋賀県	10	46.0	7.4
青森県	5	59.6	3.7	京都府	21	47.0	6.2
岩手県	7	45.3	4.0	大阪府	48	41.2	5.3
宮城県	14	46.3	5.0	兵庫県	32	47.0	6.7
秋田県	8	42.1	6.0	奈良県	7	50.1	4.5
山形県	9	42.1	5.1	和歌山県	8	49.0	6.7
福島県	7	42.5	6.0	鳥取県	5	45.0	2.5
茨城県	17	46.0	5.9	島根県	10	37.3	3.4
栃木県	8	41.3	6.5	岡山県	14	49.9	8.3
群馬県	13	46.9	7.0	広島県	19	47.4	6.0
埼玉県	33	44.8	5.5	山口県	12	45.3	5.1
千葉県	29	48.5	6.0	徳島県	6	47.5	7.5
東京都	73	44.7	4.5	香川県	11	48.4	9.4
神奈川県	51	46.6	4.9	愛媛県	12	45.6	5.5
山梨県	4	52.5	3.0	高知県	4	36.5	6.5
長野県	17	50.4	6.8	福岡県	27	51.4	4.6
静岡県	20	47.3	6.1	佐賀県	1	55.0	7.0
新潟県	16	45.6	5.7	長崎県	7	45.0	7.3
富山県	7	53.1	6.0	熊本県	11	48.1	3.1
石川県	15	47.3	6.7	大分県	5	49.2	4.5
福井県	6	49.6	6.6	宮崎県	8	50.8	8.2
岐阜県	10	47.9	6.0	鹿児島県	12	45.4	7.6
愛知県	42	42.9	5.1	沖縄県	13	44.6	6.6
三重県	12	49.3	5.5	全施設	761	46.2	5.6

徳島県の分娩取扱病院の医師構成

2010年

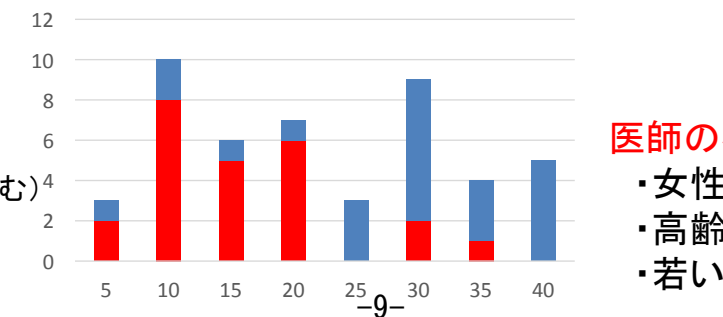


2015年



2019年

(産休・育休中4人を含む)



医師の構成年齢の変化

- ・女性医師が妊娠・育児期
- ・高齢男性の増加
- ・若い医師の減少